



# 南小だより

平成30年度10月号 No. 6

あきる野市立南秋留小学校

校長 中島 靖二

URL <http://www.akiruno.ed.jp/e-minami/> TEL 558-1136 FAX 550-3085



## 毎日の積み重ね

校庭の木々が少しずつ秋の色に変わってきました。気持ちのよい秋風が教室の中に吹き込んできます。2学期のスタートから早1ヶ月、学習に、運動に最適な季節の中で、子供たちは元気に学校生活を送っています。

さて、先日、各ご家庭には今年度の東京都統一体力テストの結果を、5年生には東京都の学力調査の結果をお渡ししました。ぜひともお子さんの体力面、学力面の成長の参考にさせていただきたいと思えます。

昨今、学校教育では子供たちの基礎学力の定着が大きな課題となっています。そのための実態把握の手段として学力調査を実施しています。本校では、一人一人の確実な学力の定着を目指して、授業時間以外に補充の時間や夏休み中のステップアップ教室、そして、今年度からは家庭学習強化月間を設けて保護者と連携の下で、学力の定着を目指していきます。補充の時間は、毎週月・火・木・金曜日の13:30～13:40の10分間にドリル学習を中心に行っています。家庭学習のご協力の呼びかけとしては、年2回の強化月間の設定や、時間、場所、内容などの家庭学習の取り組みに対する参考書的なものを現在作成しています。学力の定着には「魔法のような勉強方法はない」と言われます。技能技術を習得するのと同じように近道はなく、地道な毎日の積み重ねが大切だということです。

先日、子供たちには、江戸時代の儒学者、新井白石の幼少時代の逸話をもとに、毎日の積み重ねの大切さを話しました。ご紹介します。

新井白石も一人の人間、江戸幕府を支え、活躍した立派な人物ではありますが、幼少のころは、当然遊びたいときもあったでしょう。時には勉強をさぼりたいと思ったこともあったでしょう。あるとき、勉強をさぼったことを父親に見つかり、諭された時の話です。昔は、どの家庭にも一斗ぐらい入るような大きな木の箱、米びつがありました。それを持ってこさせて、その中から一粒米をとらせ、どこが減ったかとたずねたそうです。当然、どこが減ったか分かりません。また一粒、また一粒と続けていってもどこが減ったか全く分かりません。そこで父親は、「分からないけれども、これを一年くらいとっていると、やっぱり米は減ったなど分かるはず。勉強も一日ぐらいさぼったってどうなるものでもないが、大丈夫だ、大丈夫だと続けていくと、ある日ふと自分が駄目になっていることに気がつくものだ。」と諭されたという話があります。

逆の考え方で、一粒ずつ米びつに入れていったとしたら、確実に一年後、二年後には米が増えていることがわかるはずです。本校でも、新井白石の米びつにならい、わずかな取り組みでも継続することの大切さを教職員一人一人が実践しています。ぜひとも家庭学習の連携でも、毎日の積み重ねが子供たちの学力定着の成果として表れるようにご協力をお願いします。私が家庭学習で大切にさせていただきたいことは以下の三点です。

- 1 決められた時間に机に向かう、生活のリズムを整えること。
- 2 「継続は力」、お子さんが続けていけるようにたくさんほめ、励ましてあげること。
- 3 学年によって異なりますが、「手をかける」「目をかける」ことをバランスよく心がけること。

毎日の積み重ねの成果が、子供たちの夢の実現に、未来の姿につながることを願っています。

### ◇ 10月の行事予定

※木曜日はスクールカウンセラーの出勤日です。

1日(月) 委員会 都民の日 カボジア視察団来校	12日(金) 生活科見学(1年)
2日(火) 避難訓練	15日(月) クラブ
3日(水) 午前授業 いじめについて考える日	16日(火) 小宮地区体験学習(3年)
4日(木) 安全指導 生活科見学(2年)	18日(木) マールボロウ市訪問交流 コミュニケーションクラス校外学習
8日(月) 体育の日	22日(月) クラブ
9日(火) 読書週間始	24日(水) 学習発表会会場設営(6年)
10日(水) 午前授業 ボッチャ体験(1・2年)	25日(木) 児童集会
11日(木) 児童集会 セーフティ教室	29日(月) クラブ

